あなたに届ける議会のホットニュース

うれしの市議会だより

URESHINO

No.57
令和2年
4月27日発行

入学式を迎えた新一年生（吉田小学校）

3月議会のニュースのとびら

嬉野市政始まって以来の大型予算(第 26 号)
を慎重審議…………P4～7

令和元年度補正予算を審議
令和元年度予算
の補正案（第６号)を審議
……………………　P８～９

議案の賛否どうなった
それぞれの議案に対する
賛否表…………………P 10

議員発議で意見書を提出
新型コロナウイルス感染症に
起因する経済対策に関する
意見書を提出しました
……………………………P 12

常任委員会と特別委員会の紹介
各常任委員会と特別委員会の
新しいメンバーを紹介
……………………………P 13

ときの人
様々な分野で活躍する
人の声を掲載
……………………………P 14

発行：嬉野市議会　編集：議会広報編集特別委員会
〒 849-1492 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲 1769 番地　TEL：0954-66-9127　FAX：0954-66-2887

の大型予算

当初予算を審議中の市議会

ふるさと応援寄附金は30億を見込む
新年度自主財源比率は47・9%

今年度当初予算総額は175億6600万円で前年同期比19・9%増の29億円増と過去最大の予算が計上されました。

歳入予算では、自主財源の柱である市税収入は前年度比0・2%増の24億7200万円を計上。

また、国の制度改正後も好調なふるさと応援寄附金は前年度比200%増の30億円を見込んでいます。

繰入金については、前年度比77・4%増の20億9600万円が基金から繰り入れられ、自主財源比率は前年度より28億3000万円増え、前年度比51・0%増と大幅な伸びとなりました。

地方交付税は前年度比1億5000万円増の45億2000万円。

市債は20・6%減の6億3400万円が計上され、依存財源比率は前年度比0・8%増の91億2700万円で微増です。

歳出予算については、定期予防接種事業や、更生医療給付費、生活保護扶助費事業など民生費の支出が31・4%を占めています。

ふるさと応援寄附金の経費や消防施設整備事業などの総務費が26・5%。

市道新設改良事業などの土木費が9・8%。

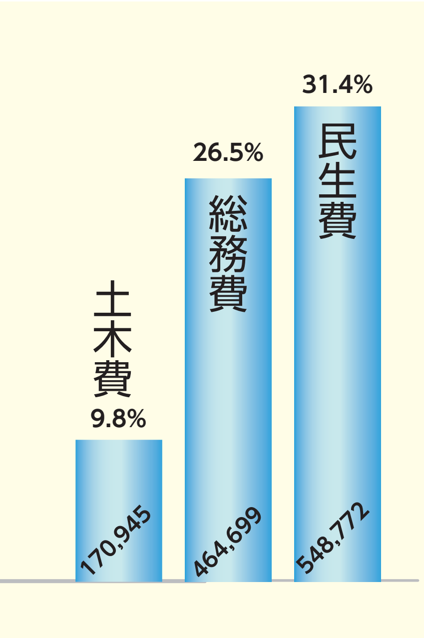
農業女子活動推進事業や、うれしの茶交流館管理費などの農林水産業費が5・4%。

まちなか広場整備や空き店舗改修、中小企業販路開拓事業などの商工費が2・9%。

オリンピック・パラリンピック関連事業や、小中学校での不審者対策として防犯カメラ設置事業などの教育費が5・8%。

市債などの償還財源として公債費7・8%などが今年度提案された主な歳出予算です。

今年度当初予算は、ふるさと応援寄附金の大幅な増加などで市政発足以来最大規模となっており、今後も市政の推移について、市民から付託を受ける議会として、きめ細かなチェックを行なっていきます。



当初予算

嬉野市政始まって以来175億

令和2年第1回定例会は2月28日に招集され、3月19日まで21日間の日程で開催される予定であったが、新型コロナウイルス感染症の対応により予算の執行を優先させるため、13日に討論採決を行ない、また、議員全員で協議し、執行部の対策対応のため一般質問を取り下げることを決定し、16日から休会としました。

今議会では令和元年度補正予算、令和2年度一般会計予算、特別会計予算や追加提案された債権管理条例の制定および条例の一部改正など35議案が提案されました。

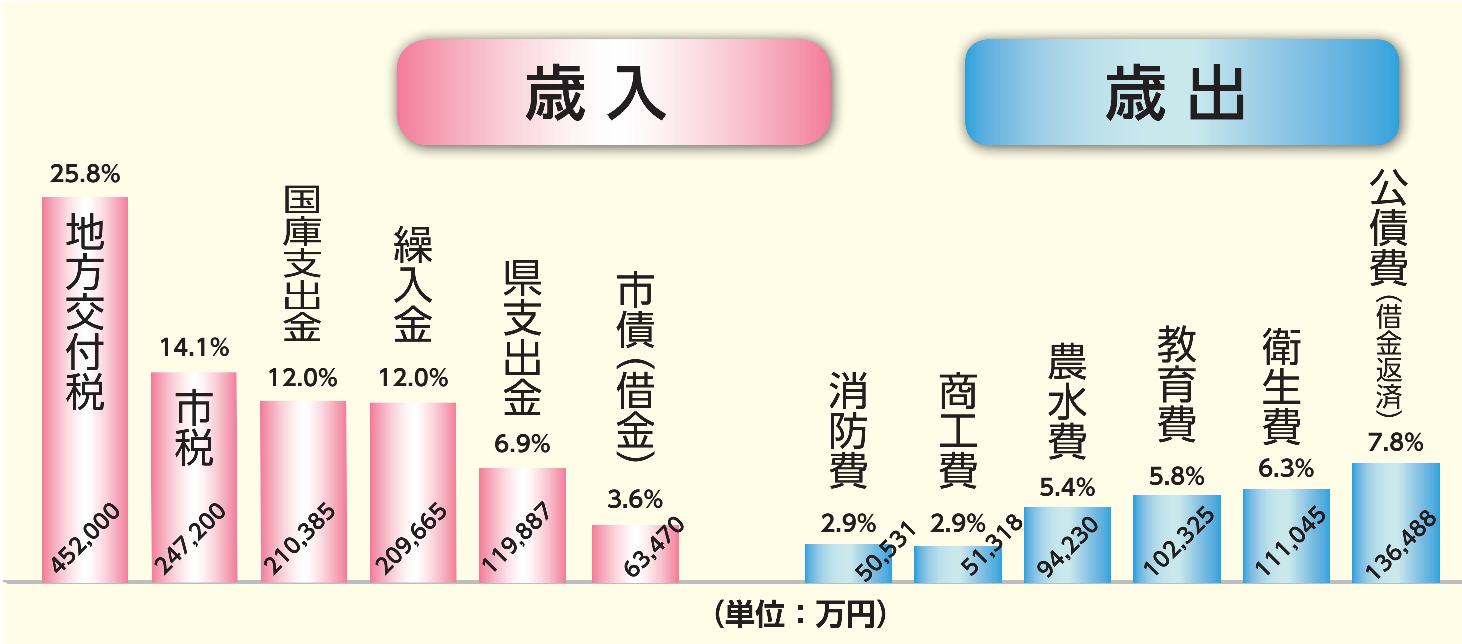
提出された全ての議案は慎重審議の結果、賛成多数を含め、全て可決しました。

また「新型コロナウイルス感染症に起因する経済対策に関する意見書」が3月13日に議員発議で提出され、全会一致で採択しました。

会計名		予算額	前年度比
一般会計		175 億 600 万円	19.9% 増
特別会計	国民健康保険	35 億 8000 万円	0.2% 増
	後期高齢者医療	3 億 8600 万円	6.2% 増
	農業集落排水	3 億 8800 万円	0.5% 減
	公共下水道事業費	4 億 6900 万円	0.9% 増
	浄化槽	1 億 9500 万円	9.1% 増
	嬉野第七土地区画整理事業費	2621 万円	52.8% 減
	嬉野第八土地区画整理事業費	1511 万円	53.0% 減
	嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費	1 億 8971 万円	17.0% 増

その他の主な予算

項　　目	金　額
ＲＰＡ等導入支援事業（業務自動化）	1880 万円
シティプロモーション事業	1303 万円
都市公園等管理費（遊具設置）	5000 万円
新幹線高架橋透明板設置事業	7014 万円
オリンピック聖火リレー関連事業	368 万円
国際交流事業	338 万円
大チャノキ再生事業	250 万円



厳しい値上げ 国民健康保険税

国民健康保険税条例の改正

今回、令和2年度から、国民健康保険税を引き上げる条例改正案が議会に提出されました。

税の改正は6年ぶりで、改正案は医療分で所得割の10.5％を10.15％に、均等割の2万6100円を2万5900円に、世帯ごとの平等割を3万8600円から4万600円にそれぞれ改正します。

年間所得250万円の夫婦と子供2人のモデル世帯で年額1万3500円の負担増になります。

医療費の削減にご協力を

国民健康保険税は、現在、県が財政運営の責任主体となり各市町に次年度の標準保険税率を示し、それを参考に、各市町の協議会で検討し、議会に諮られて決定する仕組みになっています。

超高齢化社会に伴い後期高齢者医療支援金・介護保険納付金に必要な保険料も年々増加し、負担増で厳しい運営となっています。協議・検討した結果、全体として、所得割が0．17％、均等割が1500円、平等割が4800円の増となりますが、低所得の方には従来どおり軽減税率の適用があります。

今回の議会では、やむを得ないということで可決しましたが、税率改正で市民への負担は大きくなるため、今後議会としては徴収対策や医療費削減対策について注意深く見ていく必要があります。

債権管理の適正化を

債権管理条例の制定

当市の債権管理は統一されておらず、各債権所管課が業務を行っています。

市の債権には強制徴収できる税金等の公債権と強制執行しか出来ない公営住宅使用料等の私債権があります。現体制では強制執行まで実施していないし、必要な手続きが不十分であり、そのため、債権管理の適正化と事務処理の効率化を図ることを目的に条例が制定されました。

この中には、裁判での訴えの提起は議会の議決が必要になってきますが少額の債権については、強制執行手続きを速やかに進めるため、また、債権放棄についても少額については議会の議決なしで市長が専決処分できるように条文で定めています。

これにより、事務処理の手続き・基準が統一され効率的な債権回収ができるので、議会としても市民に不公平感がでないように適正な債権回収であってほしいと望んでいます。

適正な債権回収を

移住増への期待

移住促進応援金　2280万円

今回、移住促進事業に2280万円が予算化されました。

市内での定住を目的として住宅を取得した方に対して支給されていた定住奨励金事業（転入奨励金・持ち家奨励金）から移住促進に重点化する新たな制度へと変わります。

令和2年度からは、市外からの転入を促進するために、住宅取得に限らず、応援金を支給することとなります。

応援金の交付を受けるには、いずれも転入前の事前申込が必要となります。

移住促進による人口増加を目指し、活気と歓声に満ちた地域社会の実現を期待します。

応援金による移住促進に向けて

嬉野温泉駅周辺整備関連事業

5億1830万円

全体の事業費として、5億1830万円が計上されました。

今年度は、駅周辺まちづくりの事業に必要な用地を確保するため、嬉野市土地開発公社から1万7857㎡の土地を買い戻し、また、4519㎡の私有地を借り上げます。

駅西口の周辺整備については、開発事業者の公募を行い、事業者との定期借地契約を行います。契約する面積は約1万1400㎡になります。

また、駅東口については、201台分の駐車スペースと二輪車6台分の駐輪場整備のための実施設計を行います。

今回の事業で一部借地契約がありますが、今後は嬉野温泉駅周辺整備事業に関わらず、開発事業を行う際は借地でなく買収が好ましいと議会から指摘を行いました。

駅周辺のまちづくりに民間活力を活かして、令和4年度の新幹線開業に合わせ、官民一体となった整備を進めます。

着々と整備が進む駅周辺

小中学校に防犯カメラを設置

601 万円

犯罪の抑止になるように

小中学校への防犯カメラ設置に601万円が予算化されました。

これまで市内の小中学校に防犯カメラはありませんでした。県内では3割（昨年11月時点）の公立学校で防犯カメラが設置されており、犯罪抑止や事件解決の手助けとなる効果が認められています。

市内学校への導入については、五町田小学校1カ所、久間小学校1カ所、塩田小学校1カ所、谷所分校1カ所、嬉野小学校4カ所、轟小学校4カ所、吉田小学校3カ所、大草野小学校1カ所、塩田中学校7カ所、嬉野中学校4カ所、吉田中学校2カ所、大野原小中学校4カ所で学校の敷地内に設置される予定です。

設置場所は、警備事業者からの専門的見地に基づく助言を受け、人の目による警備が行き届きにくい死角となる場所に設置されます。

議会としては、プライバシーを懸念する声もありますが、学校に防犯カメラを設置することで犯罪などの抑止力を高め、万が一の事件や事故を未然に防止することができ、子どもたちの安心・安全な学校生活を守るために必要と判断しました。

嬉野市女性・子ども・家庭支援センターを市直営に

令和2年度から「嬉野市女性・子ども・家庭支援センター」は市が直接運営することになります。

これまでは、「嬉野市男女共同参画をすすめる市民の会」に運営を委託し、嬉野庁舎3階に支援センターが開設されていました。

令和2年度からは塩田庁舎「子育て未来課」および嬉野庁舎「福祉課」にそれぞれ支援員を配置し、市で支援センターの運営業務を行います。

事業としては、これまで継続されていた事業を強化することとし、子ども家庭総合支援拠点事業および母子父子福祉総務管理に予算計上し、家庭相談員（子ども家庭支援員）2人、母子父子自立支援員1人、婦人相談員1人および保健師を雇用し、体制を強化します。

児童虐待を含む養護相談や養育相談、暴力被害女性の保護など子どもや女性に関する多岐にわたる相談に応じ、支援を実施していきます。

今後も相談者が安心して相談できるように、また、これまで相談されていた方への配慮や相談しやすい環境の整備に努めるよう議会から要請しました。

相談しやすい環境を

予算のなかみ

新規就農者の営農形態の確立はできるのか

ハウス団地整備事業

200万円

新規就農者の確保につなげる

新規就農者の負担軽減と安定した営農形態の確立に向けて、ハウス団地整備事業として200万円が予算化されました。

近年、嬉野市内での新規就農者は施設園芸が中心であり、今後もトレーニングファーム卒業生や意欲ある就農者の増加が見込まれます。

この事業は、ハウス団地を整備することにより、新規就農者の圃場選定の課題を解決し、さらには土地の造成に対する費用削減を図ることで、新規就農者の負担軽減と安定した営農形態の確立、および市外からの新規就農者の確保を図ることを目的とした事業です。

ハウス団地は、市内数か所を候補地として検討しており、農地中間管理事業を活用した貸借を想定しています。

今後、農業担い手不足の解消と農業振興を期待します。

新たな賑わい広場を

まちなか広場整備事業 4150万円

本通り3番目の賑わい広場

まちなか広場整備に4150万円が予算化されました。

これまで嬉野温泉本通りに設けられている湯遊広場、湯宿広場に続く3番目の観光スポットとして整備されます。

これまでの広場同様、嬉野温泉本通りに市民や観光客の憩いの場として、また休憩スポットとして整備が行われます。街歩きを促すことで賑わいを創出し、地域の活性化にも繋げるため、平成29年度より実施をしている事業です。

今回の整備にあたり、嬉野交流センターにアンケートを準備し、市民の皆様や観光客の方々の意見を伺いました。

整備内容の基本構想としてトイレを設置し、これまでの施設のように温泉を活用しての足湯や手湯を考えています。

アンケートの結果等の内容を地域の方々にも公表すべきではないかという議会からの声に、内容と方向性をお知らせするとのことでした。

新しく広場ができることで、交流人口が増え、これまで以上に本通りの活性化に繋がるように期待をします。

大幅な増額 ふるさと応援寄附金

11億5000万円

総務省の指導により、返礼品の割合を3割にして経費を含め寄附金の5割以内という新制度でスタートしました。

当初予算では、昨年の実績より少なめの10億円を見込んでいましたが、予想に反して昨年をはるかに上回る寄附金が寄せられました。12月の補正予算では寄附金を10億円追加していました。1月末で29億2000万円と大幅な寄附金となっています。そこで今年度最終的な見込みとし、11億5000万円を追加し、31億5000万円となりました。

寄附をいただいた全国の皆様に感謝

返礼品は佐賀牛が9割以上を占めています。その他に、宿泊券・うなぎ・清酒・チーズとなっています。

この他にも地元の産品を紹介していますが、佐賀牛のブランドがいかに受け入れられているのかを物語っていると言えます。

寄附金の半分程度が返礼品やその手数料や送料に充てられ、残りの14億円余りが積立金となり、次年度の一般会計の財源となります。

予算の一部として様々な事業に振り分けられて活用されていますが、ふるさと応援寄附金の趣旨に沿うような活用を求めるように議会から要望しました。

早期の改修工事を 校舎屋根庇（ひさし）改修（吉田中学校）

2510万円

令和元年6月初めに吉田中学校において、校舎の屋根庇（ひさし）のモルタルのかけらが落下しているのが発見されたため、国庫補助事業である学校施設環境改善交付金を活用して、新たな被害の拡大を防ぎ、また、生徒の安全を確保するために改修工事を行うものです。

市内学校の校舎及び体育館等は、児童・生徒の学習・運動・生活の場であり、集会や放課後活動等にも使用されています。また、緊急時の避難場所等多方面にわたり活用されているので、安心・安全な場所であってほしいと思います。

工事は安全面に配慮して、学校行事や子どもたちの生活の妨げにならないように夏休み期間に実施予定なので、今回の予算は次年度に繰り越して執行されます。

財源は事業費の1／3を国庫補助金836万円、市債として学校教育施設等整備事業債1670万円を充てます。

他の学校施設についても老朽化による同様な問題はないかという質問が議会から出たが、日頃より点検を行っており、現在問題は見受けられないという答弁でした。

子どもたちの安心・安全を

久間小プール防水改修工事中止

2000万円減額補正

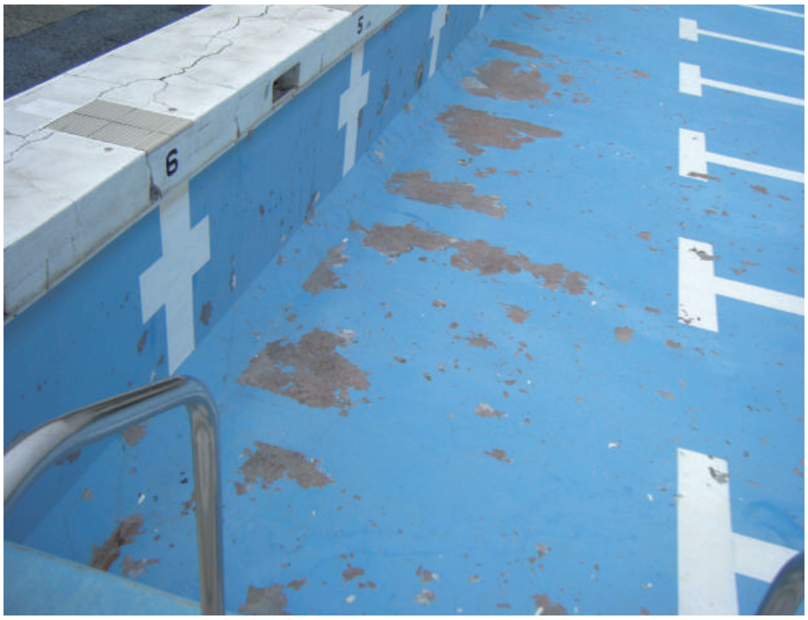
久間小学校のプールは、築50年が経過しており、壁面塗装の劣化およびひび割れが著しいため、プールの使用ができない状態であったので6月補正予算において2810万円の予算計上を行い、改修工事を行う予定をしていました。

しかし、今年度の水泳授業については、民間のプールを利用することにし、9月から12月まで毎週月曜日にマイクロバスでの送迎で民間のプールを利用しての授業を行ってきました。

その後、保護者等へのアンケートによれば、児童の安全面や教師の指導体制において、民間利用のほうが良いという意見が多くありました。

教育委員会としては、久間小プール改修は行わず、民間のプールを利用することになりました。

議会としては、市内の全部の小学校にプールが設置してあるが、今後改修費用が多額になることが予想され、民間のプール利用が増えることが考えられるので、費用対効果も含め注視していく必要があります。



老朽化が進んだプール

利用が少なかった プレミアム付商品券事業

1億2000万円減額補正

2019年10月の消費税率引き上げに際して、所得の少ない方や子育て世代に対して生じる負担増などによる消費への影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えすることを目的としたものです。国からの100%補助で1億9000万円の予算計上を行い、プレミアム付商品券を発行・販売されました。

しかし、プレミアム付商品券事業において販売数が当初見込みより少なかったために1億2000万円の減額補正を行いました。

当初見込みから販売数が伸びなかったのは、額面より25%有利な金額で購入できるプレミアム付商品券であったが、対象者の意識が盛り上がらなかったのではないか。議会からは、対象者への周知と手続きの簡略化が必要ではなかったのか、という指摘を行いました。

3月補正　その他の事業

事　業　名	補　正　額
定住促進奨励金	2430 万円
営農再開・草勢樹勢回復等被害対策事業	45 万円
社会資本整備総合交付金事業（橋りょう補修整備）	1 億 4700 万円
社会資本整備総合交付金事業（市道調査・改良）	3 億 497 万円

条例改正制定にもの申す

嬉野市体育施設条例の一部を改正する条例

反対

もったいない！嬉野市体育館

山口忠孝 議員

この条例は嬉野市体育館を本年4月1日より閉館することであり、私はまだ利用できる・利用すべきだと考えます。

当初の予定では中央体育館建設後5年以内、国民スポーツ佐賀大会（令和5年）後に解体するとのことであった。確かに地下基礎部分や天井部分の老朽化はみられるもののトイレや床部分は改装されてきれいである。一昨年には、体育館前の駐車場も隣接する民家の寄附を受けて拡張工事をされています。

閉館決定は、専門家の調査の指摘を受け12月から2月にかけて短期間で結論が出されており納得ができない。補修を最小限に止め、老朽化を市民に示し使用したら問題ないと考えるので反対の討論とする。

嬉野市債権管理条例

反対

嬉野市債権管理条例について反対する

芦塚典子 議員

この条例は、市の債権管理に関する事務の処理について必要な事項を定めることにより、市の債権の適正な管理に資することを目的とする条例である。但し、督促、滞納処分、強制執行等の条文に、公債権においては延滞金を徴収しない旨、また納付義務者が督促状で指定された納期限までに納付しない時は徴収をする旨を明記する必要がある。私債権においては、遅延損害金について履行する旨を明記する必要がある。また、明記がない場合は規則等で定める旨を加筆する必要がある。今後の市の公有財産の貸付料等、契約の多様化を鑑みると盤石な法整備が必要と思われるので反対の討論とする。

令和 2年 3月定例会議案賛否表（主なもの）

○は賛成　●は反対　議長は採決に加わりません

議案番号	議案名	結果	表決数	1 山口卓也	2 諸上栄大	3 諸井義人	4 山口虎太郎	5 宮﨑一德	6 宮﨑良平	7 川内聖二	8 増田朝子	9 森田明彦	10 辻 浩一	11 山口忠孝	12 山下芳郎	13 山口政人	14 芦塚典子	15 梶原睦也
議案第 4 号	嬉野市ふれあい広場条例について	可決	15：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 5 号	嬉野市大草野防災広場条例について	可決	15：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 12 号	嬉野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	15：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 13 号	嬉野市体育施設条例の一部を改正する条例について	可決	14：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第 16 号	第 2 期嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略について	可決	15：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 17 号	令和元年度嬉野市一般会計補正予算（第 6 号）	可決	15：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 26 号	令和 2 年度嬉野市一般会計予算	可決	15：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 35 号	嬉野市債権管理条例について	可決	14：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

令和２年
第２回 臨時議会
３月27日

事　業　名	事　業　費	内　　　　容
新型コロナウイルス感染症対策 （健康づくり課）	198万円	マスク・アルコール手指消毒液他
武雄・嬉野温泉応援キャンペーン事業 （観光商工課）	5300万円	宿泊費半額補助（武雄・嬉野市民、及び域内勤務者） 上限10,000円 クーポン券は 宿泊者に対して（域内の小売業に利用） ※域内で感染者が発生した場合は延期もありえる。
子ども学校塾事業 （学校教育課）	356万円	小学校１年～６年生を対象で、今まで週３日 放課後を利用して 取り組んでいるのを１日増やす。 中学校でも新たに１、２年生を対象に実施する。

新型コロナウイルス感染症対策

連日報道されている新型コロナウイルス感染症が全世界に広がっており、死亡される人も増えている状況です。

佐賀県からも感染者が発生しており、予断を許さない状況です。

嬉野市としても、緊急の対応が必要と判断し、３事案を臨時議会で審議しました。

1 感染防止のためのマスクの購入費用。

2 厳戒態勢の長期化による市内経済の停滞で旅館・飲食店の経営危機に対する支援。

3 臨時休校に伴う学習の補充を行う費用。

これら３事案を予算議案として慎重審議の結果可決しました。

市は今後も、必要と判断すれば、追加の経済対策を行う意向であります。

新型コロナウイルス感染症が一日も早く終息し市民が安心して元の生活に戻れることを望みます。

感染症対策に懸命な職員

嬉野市議会から国会へ

新型コロナウイルス感染症に起因する経済対策に関する意見書

新型コロナウイルス感染症の脅威が日本に及んで以来、観光サービス業や飲食業を中心に急速な売り上げ減少が続き、甚大な影響が出ております。

これにより1月から3月までの急激な資金繰りの悪化により、事業の存続自体も危ぶまれ、地域経済、雇用を守るためには金融政策での利子補填など以上の支援が必要です。嬉野市も、影響を受ける市民や経済活動の回復に傾注しておりますが今回のような過去に例を見ない急激かつ深刻な事態に対応するため政府、国会、その他関係機関の緊急なる経済対策が講じられるよう強く要望します。

1、事業者への経営支援について

新型コロナウイルス感染症に起因する売り上げ減少に関わる支援において現在までに発表されている融資支援制度に加え、財政出動等による直接損失補填、もしくは税等の減免による支援策等講じられたい。

2、個人の所得補償について

新型コロナウイルス感染症に起因し、やむなく休業となる場合の、個人への所得補償は、正規・非正規・パート・アルバイトに至るまでの支援をお願いしたい。

3、正確な情報発信と検査について

マスコミによる、煽りとも受け取られかねない報道、SNSによるデマ拡散により国民・市民の不安が高じ、風評被害が経済活動に影響を及ぼしている面も否定できない。政府はデマや不安定な情報の拡散が無いよう、常に正確な情報を発信されたい。また、検査等の体制強化も併せてお願いしたい。

提出先

政府、国会、その他関係閣僚

6月定例会会期日程（案）

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
開会	休会	休会	常任委員会	常任委員会	休会	一般質問	一般質問	休会	休会	一般質問	休会	議案質疑	議案質疑	休会	休会	休会	討論・採決・閉会

閉会中の委員会付託案件	所管の公有財産について	総務企画常任委員会
	所管の公共施設について	産業建設常任委員会
	各期の議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項	議会運営委員会
	議会広報の編集発行に係る調査研究	議会広報編集特別委員会
	議会の活性化を図るための調査研究	議会活性化特別委員会
	議会ICT化に関する調査研究	議会ICT化に関する特別委員会
	嬉野市庁舎のあり方に関する調査研究	嬉野市庁舎検討特別委員会

令和2年2月5日から 新しい構成での委員会となりました 心機一転で各委員会がスタートします！

総務企画常任委員会

総務・防災課、財政課、企画政策課、広報・広聴課、税務課、新幹線・まちづくり課、会計課、議会事務局、監査委員事務局を担当します。

委員長　宮﨑良平
副委員長　芦塚典子
委員　田中政司　梶原睦也　増田朝子　諸上栄大

文教福祉常任委員会

教育委員会、福祉課、市民課、健康づくり課、子育て未来課、文化・スポーツ振興課を担当します。

委員長　森田明彦
副委員長　山口忠孝
委員　山口政人　山下芳郎　山口卓也

産業建設常任委員会

建設・農林整備課、農業政策課、観光商工課、環境下水道課、農業委員会事務局を担当します。

委員長　川内聖二
副委員長　諸井義人
委員　辻　浩一　宮﨑一徳　山口虎太郎

議会広報編集特別委員会

議会に対する市民の理解と認識を深め、開かれた議会の充実を図るため、年４回の定例会後に「議会だより」を発行しています。

原稿作成から編集、校正まで全てを議員だけで行い広報紙を発行するのは全国でも珍しく、他自治体からも高い評価を受けています。

委員長　森田明彦
副委員長　諸井義人
委員　山口政人　山口忠孝　川内聖二　宮﨑一徳　山口卓也

議会運営委員会

議会運営に関わることや議長の諮問について担当します。

委員長　辻　浩一
副委員長　梶原睦也
委員　山口政人　森田明彦　川内聖二　宮﨑良平

議会活性化特別委員会

「議員が変われば議会が変わる」、「議会が変われば行政も変わる」、「行政が変われば嬉野市も変わる」をモットーに開かれた議会を目指し、議員と語ろう会や議会のインターネット配信、各種会議の傍聴、他自治体より多くの視察対応等、議会改革を着実に進めていきます。

委員長　宮﨑良平
副委員長　梶原睦也
委員　芦塚典子　辻　浩一　増田朝子　山口虎太郎　諸上栄大

一般質問取り下げ。嬉野市議会史上初

新型コロナウイルスと議会

令和２年度の嬉野市予算を審議する３月定例会は２月28日に開会しましたが、新型コロナウイルスの影響が議会運営にもありました。

議会は、市長はじめ執行部と議員の議論の場であり、これまで予算の委員会審議を皮切りに一般質問、議案審議を経て最終日に討論採決で閉会となります。

新型コロナウイルスの蔓延が拡大するにつれて執行部も対策に警戒を強めていました。議会もそのことに配慮して、今回令和２年度当初予算の審議・採決を先に行い、一般質問は変更しました。しかし、事態は好転せず、学校が休校になり、様々な行事・イベント等も自粛ムードになり市民生活にも影響を及ぼすようになってきました。

三日間予定されていた一般質問を一日間に短縮して実施する案も考えられていましたが、急変する事態への対応に追われる執行部には、対策に専念してもらうためにも、一般質問を取り下げました。

ときの人

分校カフェ haruhi オーナー
中林正太さん

地域の誰もが活躍できる仕組みを作りたい。

嬉野町吉田小学校旧春日分校跡でカフェをオープン！　３月に４周年を迎えられた中林正太さんの思いをお聞きしました。

問：オープンされて４年ですが感想は？

中林さん：早かったです。やりたい思いだけで、がむしゃらにやってきましたが、スタッフにも恵まれ、事業としても少しずつ定着しています。また、この１年は春日地区の方々の参加機会も増え、本来やりたかった形が少し見えてきました。

問：始められたきっかけは何ですか？

中林さん：元々地域おこしに興味があった。また、この地域の方から分校が使われなくなってもったいないと言うお話を聞き、実際見にきたら自然豊かな環境にある分校跡を見て、これは残したいとの思いが先行しましたね。また、所有する市から貸してもらえたことも大きい。

分校カフェ haruhi
11時～16時
（火水は店休日）

haruhiスタッフの皆さん

問：カフェは最初からやりたかった事業？

中林さん：ただ残したいとの思いだけでは無理なので、地域にお金が循環すれば素晴らしいな、と考え、手段としてカフェを選択しました。

問：オープンはスムーズでしたか？

中林さん：はっきり言ってお金が無かったので、改装も出来るだけ自分たちでやり、補助金の情報も聞き、活用させてもらったが、カットがあったり大変でした。ただ自分たちで手を掛けたので愛着が沸き、投げ出す気にはならなかったですね。

問：今後の展開をお聞かせ下さい。

中林さん：事業として自立できるようにすること。それに、haruhi「むかし美人の会」も発足し、耕作放棄された茶畑の活用で「茶の実油事業」も始めたところです。定期的に集まり話せることがうれしいと言ってくれるなど、本来やりたかった「誰もが活躍できる仕組み」の形が少し見えてきて、これからが楽しみです。

取材を終えて：懐かしさを思い起こさせるカフェ（教室）でお話を伺いました。カフェと同時に、地域の活性化も進むことは素晴らしいと感じました。

コラム

任期２年が経過し、各常任委員会や特別委員会の所属替えにより、議会広報を担当することになりました。張り切って臨んだけれど、文才のなさゆえ、同僚に助けられながら無事に発行することができました▼市政を進めるうえで車の両輪に例えられる議会ですが、様々な課題が山積している現状です▼今議会は「新型コロナウイルス感染症」対応による日程変更をはじめ、過去に例のない異例づくめの議会となりました。世界規模での感染拡大による経済の停滞は国内をはじめ、嬉野市においても同様であり、一日も早い終息を願うばかりです▼野を歩けば木々も「目に青葉」の季節に変わろうとしているのに。（明彦）

議会広報編集特別委員会

委員長　森田明彦
副委員長　諸井義人
委員　山口政人
〃　山口忠孝
〃　川内聖二
〃　宮﨑一德
〃　山口卓也

★この印刷物は、一部あたり32円でできています。